



# 検査内容・検査結果データのイメージ

## 【補足】

- 次のツリー図は、検査する感染症及び検査手法が最も多いイノシシの検査内容・検査結果データの登録イメージ。
- 検体番号と検体保管番号をシステム上で紐づける仕様とする。
- 検査手法によって、検査結果が異なることがある。(レプトスピラ症の細菌分離培養をした結果、肝臓は陰性、腎臓は陽性、心臓は不明といった結果が出ることもある。)
- 追加検査は、基本的に検査結果が陽性だった検体について、追加で病理検査又は生化学検査を実施した場合にデータ登録する。病理検査又は生化学検査の結果はデータベースに馴染まないため、本システムでは追加検査を実施したことのみを登録し、県で別途管理する。
- 検査する感染症、検査手法、測定結果等の項目は適宜変更されるので、登録項目は職員で自由に追加・削除できる仕様とする。

